

八重山が育む郡山の自然と歴史

【旅行代金】お一人様

【出発日】2023/9/30(土)

5,400円



八重の棚田



花尾神社



花尾隠れ念仏洞

八重山中腹の甲突池は鹿児島市民の命の水であり、甲突川の源流です。

古くは満家院とよばれ、その中心となったのが郡山です。

奈良時代の神社や鎌倉幕府の創始者源頼朝を祀る花尾神社は「きつま日光」の別名で知られ、

島津初代忠久の母丹後局の墓も大切に守られています。

秋の真っ只中、素晴らしい自然と歴史を誇る鹿児島の故郷・郡山を旅してみませんか。

中央駅西口	智賀尾神社	甲突池・八重の棚田・棚田でお弁当(昼食)	八重の里	花尾隠れ念
9:00	9:35/10:05	10:25	12:00	12:10/12:25 12:30/13:25
花尾神社・丹後局墓	一之宮神社	川田堂園供養塔群	川田石橋	中央駅西口
13:30/14:20	14:30/15:00	15:05/15:40	15:45/16:00	16:30

《見所》

- 智賀尾神社・・・ 祭神イザナミノミコト。創建は古く、860年には従五位上を授とある。現在の所に遷座される前は、その下を流れる川で禊をした。この川が現在伊集院に流れ込む「神之川」である。
- 甲突池・・・ 甲突川の源流。八重山からの湧水でできた池。
- 八重の棚田・・・ 甲突川の源流域に広がる棚田。広さ12.4haの約240枚からなる石積みの棚田。
- 花尾隠れ念仏洞・・・ 花尾山の裾伝いの道路から少し登った所に洞窟があり、念仏行の痕跡が残っている。
- 花尾神社・・・ 御祭神、源頼朝公、丹後局、清和天皇、永金阿闍梨。1218年島津忠久公が建立された。歴代島津家当主に保護されて今日にいたる。華麗な権現造りは目を奪われます。
- 丹後局の墓・・・ 花尾神社の隣に丹後局のお墓と石塔群があります。
- 一之宮神社・・・ 主祭神島津忠久公、副祭神丹後局・惟宗広言。創建不詳、1491年国老村田経安が再造とあり、島津継豊、島津重豪などが再興しているので、島津家の保護のもとにあったことがわかる。
- 川田堂園供養塔群・・・ 中世の頃郡山は満家院と呼ばれ豪族比志島氏が支配していた。その庶流川田氏の始祖比志島盛資が川田を治めることになった。盛資が父や祖父などの菩提を弔って建てた供養塔である。

実施期日

令和5年9月30日(土)

集合

8:45集合 鹿児島中央駅西口 切子塔前

《注意事項》

- ◆上記スケジュールは、天気、交通状況等により変更になる場合がございます。
- ◆動きやすい服装と歩きやすい靴でご参加ください。
- ◆常備薬等があればご持参ください。

《旅行代金に含まれるもの》バス代、高速船代、昼食代、行程に含まれる入場料、保険代

企画：NPO法人かごしま新発見伝塾 / 旅行主催：鹿児島交通観光株式会社

090-2966-2119

099-223-0123